



● 容器包装削減への取り組み ●

1 容器包装をできるだけ使わない販売への取り組み

レジ袋のように、お客様と一緒に「使わなくてもよい容器包装」を削減する。

- ノーレジ袋キャンペーン
- レジ袋無料配布の中止
- 使用済みレジ袋のリサイクル

2 使った後の容器包装を廃棄物にしない取り組み

お客様が商品と一緒に持ち帰った容器包装を回収し、再生資源にする。

- リサイクルボックスによる店頭回収
- 再生資源として製品（トイレペーパーなど）やベンチにリサイクル

3 サステナブル（持続可能な）原料を使った容器包装への取り組み

限りある化石資源（石油）を使用せず、繰り返し栽培可能な植物資源を原料にする。

- バイオマスプラスチック製容器の使用
- 使用済みバイオマスプラスチック製容器のリサイクル

レジ袋無料配布中止実施地域



レジ袋有料化に向けての取り組み（名古屋市）

■ 環境デーなごやにて締結（2007年9月）

名古屋市では、2001年から学識経験者・名古屋市・市民団体・事業者で構成する「容器・包装3R推進協議会」を設立し、レジ袋使用削減に努めてきました。2007年10月よりレジ袋有料化を決め、三者協定を締結し名古屋市緑区内より実施しました。



名古屋市松原市長・ユニー前村社長

■ 植樹祭

有料レジ袋を販売した収益金をエコマネーセンターにお渡し、2008年6月名古屋市緑区内の公園で市民のみなさまと一緒に植樹をしました。



名古屋市山田副市長・ユニー前村社長

■ レジ袋有料化実施に向けてのキャンペーン

10月のレジ袋有料化実施に向けて、広く市民のみなさまに周知理解していただくために、市民団体・名古屋市職員・ユニーの従業員が一緒に各店でキャンペーンを実施しました。



名古屋市緑区アピタ鳴海店